

情報公開文書

血糖コントロール不良の糖尿病患者における悪性腫瘍検索の有用性

1. 研究の対象

2015年4月～2018年3月に血糖コントロール目的に当院に入院された方

2. 研究目的・方法

糖尿病教育入院において、血糖コントロール不良の原因として悪性腫瘍を検索することが有用であるか否かを検討することを目的とします。

上記の期間に血糖コントロール目的に当院に入院された方の中で、入院中に悪性腫瘍を発見された患者を対象とします。下記、研究に用いる試料・情報の種類を調べ、どのような特徴を要する場合に悪性腫瘍の検索をするべきかを検討します。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

- ・悪性腫瘍の部位の内訳
- ・年齢、性別、肥満、糖尿病型、罹病年数、合併症、治療内容、血糖コントロールの状態、既往症 等

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。
ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

〒010-8543 秋田市本道1丁目1-1

TEL：018-884-6769 FAX：018-884-6449

秋田大学大学院医学系研究科 内分泌・代謝・老年内科学講座

研究責任者：大高 いずみ